

# アドラー心理学

## 日本アドラー心理学会へようこそ

日本アドラー心理学会は  
国際アドラー心理学会連合 (International Association of Individual Psychology) の  
日本で唯一の公認団体です。

本学会では専門家・非専門家の区別なく  
医療、福祉、教育、家庭、企業など  
様々な現場領域で活躍中の会員が  
ともにアドラー心理学を学んでいます。



「ともに学び、ともに遊び、ともに育てる」

日本アドラー心理学会

〒532-0011

大阪市淀川区西中島3-8-14-502

<http://adler.cside.ne.jp/>

日本アドラー心理学会は、アドラー心理学の創始者アルフレッド・アドラーから、アドラーの高弟のルドルフ・ドライカース、そしてバーナード・シャルマン、そして野田俊作へと受け継がれてきたアドラー心理学の研究と啓発を目的に作られた団体です。

団体名：一般社団法人 日本アドラー心理学会

会長：樋澤律子

設立：1984年

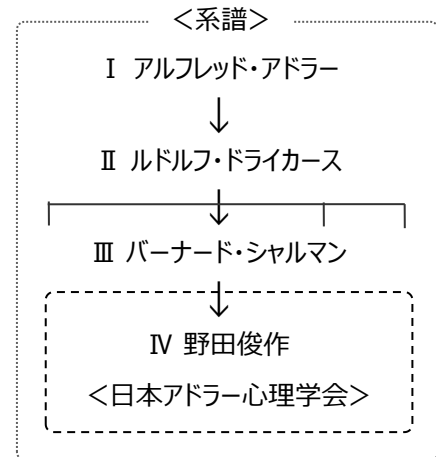
会員数：約1,200名

理事：樋澤律子（会長）

岡山恵実（広報・渉外担当）

角陸正英（総務・地方区担当）

中井亜由美（学術・教育担当）



年に1度、総会を開催しています。勇気づけの雰囲気溢れる中で、現場と実践をむすびつけて学ぶことができます。

## 近年の総会プログラム内容

- ・小児科外来における不登校の支援（2018石川）
- ・シンポジウム「アドレリアンって何？」（2018石川）
- ・20世紀前半の思想状況の中でのアドラー心理学（2017滋賀）
- ・子どもと家族の援助を中心にしたアドラー心理学（2017滋賀）
- ・エピソード分析と治療共同体（2016新潟）

## 地方会

各地方区では、メンバーの交流や学習、懇親を目的に、地方会が開催されています。地方会は地方区ごとに主体的に運営されており、日頃の各自助グループの学びの成果を分かち合うなど、それぞれの地方区のアイデアを活かした楽しい会になっています。学会員になれば、どなたでも参加できます。

### 全国の地方区:

北海道 東北 関東 甲信越 北陸・東海 近畿 中国 四国 九州・沖縄

### 近年のプログラムやテーマ:

やってみよう！アドラー心理学（北海道）

「東北のアドレリアンと出会い、つながる」（東北）

基本に返ろう「課題の分離と共同の課題」

～どっちが勇気づけ？おまかせするか力をあわせるか～（関東）

私たちの実践報告2～やってみたらこうなった～（甲信越）

「勇気づけの歌」で学ぶアドラー心理学（北陸・東海） さらに勇気づけをはじめよう（近畿）

ええがぁ～中国地方会 ～日本のアドラー心理学を世界へ～（中国）

大切なのは、「これから」（四国） ふたたび勇気づけ（九州・沖縄）

## 全国の自助グループ

日本アドラー心理学会と連携しながら、アドラー心理学をなかまと相互に学び合う自助グループが全国にあります。自助グループは、メンバーの知識や実践経験を分かち合いながら、日々の暮らしの諸問題（ライフタスク）を解決していく治療共同体です。

活動内容は、パッセージのフォローアップや勉強会、輪読会、ライフスタイル分析の練習会などさまざまですが、メンバーが相互に学び合い、高め合うスタイルで運営されています。

## 海外のネットワーク

日本アドラー心理学会は国際アドラー心理学会連合の日本で唯一の公認団体として、演題の発表、最新の研究成果などの情報交換をしています。

ICASSI（ドライカースサマーセミナー）には日本からも多くの会員が参加し、海外のアドレリアンと積極的に学び合っています。

日本アドラー心理学会：Japanese Society of Adlerian Psychology

国際アドラー心理学会連合：International Association of Individual Psychology

国際リエゾンオフィサー：中島弘徳

## 機関誌『アドレリアン』

年3回発行の機関誌『アドレリアン』（1冊1,500円）は会員に配布され、無料で読むことができます。また過去に掲載された論文の一部は学会ホームページから読むことができ、これらの活動を通して、アドラー心理学の普及、啓発に力を入れています。

### 近年の『アドレリアン』の掲載記事

論文：アドラー心理学カウンセリング習得へ向けて（通巻87号）

地方会シンポジウム報告：頭から体へ 思春期の娘を勇気づける（通巻87号）

書評：『3歳からのアドラー式子育て術「パッセージ」』発刊によせて（通巻87号）

論文：二十世紀前半の思想状況の中でのアドラー心理学（通巻86号）

実践報告：荒れのきざしのみられる学級集団との1年間（通巻86号）

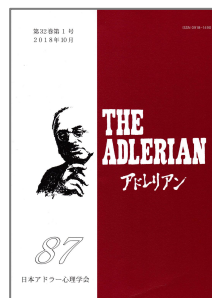
論文：医療リワークデイケアにおける集団心理療法について（通巻85号）

招待講演：あるアドレリアン心理学者50年の歩み（通巻85号）

総会シンポジウム報告：母親として学ぶアドラー心理学 before ☆ after（通巻85号）

※ホームページから総目次をご覧ください。

編集長：井原文子



## 学会認定資格

日本アドラー心理学会には、次の認定資格があります。

家族コンサルタント：アドラー心理学に基づく育児学習プログラム『パセージ』をリーダーとして開催できる資格です。パセージを受講し、自助グループでの活動経験を踏まえた後、リーダー養成講座に参加し実技試験を受けます。さらにサブリーダー研修を経て資格取得となります。(リーダー養成講座受講には、現役パセージリーダーからの推薦が必要です。)

カウンセラー：人々の暮らしの諸問題を解決できるよう、援助するための資格です。

原則として援助専門職の方を対象としています。カウンセラー養成講座を受講し、試験に合格すれば取得できます。養成講座受講の条件は、基礎講座理論編・応用編を受講して日常生活で実践し、かつ自助グループ等で他の人の援助をする経験をもっていることです。

心理療法士：単に日常生活上の問題を解決するだけでなく、生き方そのものを再点検するための援助を心理療法と呼んでいます。カウンセラーの資格をもち、指導者によるスーパーヴィジョンと実技試験を受けることで取得できます。

認定指導者：上記三種の資格認定などの仕事をします。

## アドラー心理学の学び方

日本アドラー心理学会は非営利の団体ですので、協力関係にある「アドラーギルド」に講座の開催をお願いしています。はじめての方には、まず基礎講座やパセージの受講をおすすめいたします。

開催予定は、以下のホームページをご覧ください。

基礎講座 ⇒ アドラーギルドのホームページ (<http://adler.cside.com>)

パセージ ⇒ 学会のホームページ (<http://adler.cside.ne.jp>)

## 会員になると

- ・機関誌『アドレリアン』が年3回無料配布されます。
- ・日本アドラー心理学会総会や地方会への参加資格が得られます。
- ・学会ホームページの会員専用サイトの閲覧が可能となり、学会ニュースを受け取ることができます。
- ・アドラー心理学を次の世代へ伝えていくための貢献をすることができます。

<入会案内>

年会費：7,000円

入会申込書はホームページ (<http://adler.cside.ne.jp>) からダウンロードできます。

<お問い合わせ：日本アドラー心理学会事務局>

〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-8-14-502

日本アドラー心理学会 (担当：大塚)

TEL:06-6306-4699 FAX:06-6306-0160 Mail:lem02115@nifty.com